

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(Sr)

2021年度 第1四半期

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		分析機関
			Sr-90 (Bq/kg(生))	参考 Cs合計 (Bq/kg(生))	
太田川沖合1km付近(T-S1)	ボラ(全体)No.1	2021/6/17	2.9E-02	4.3E+00	KANSOテクノス
1 F敷地沖合3 km付近(T-S4)	アカエイ(全体)No.1	2021/4/22	1.9E-02	4.5E+00	KANSOテクノス
1 F敷地沖合3 km付近(T-S4)	コモンカスベ(全体)No.1	2021/4/22	1.5E-01	4.3E+00	KANSOテクノス
2 F敷地沖合2 km付近(T-S7)	アカエイ(全体)No.1	2021/6/24	1.9E-02	4.2E+00	九州環境管理協会
2 F敷地沖合2 km付近(T-S7)	コモンカスベ(全体)No.1	2021/5/26	1.8E-01	4.3E+00	九州環境管理協会

- ・核種毎の半減期：Sr-90(約29年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・Csは可食部(筋肉)で測定、Srは骨を含む魚全体(内臓以外)で測定。
- ・ $○.○E±○$ とは、 $○.○×10^{±○}$ であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は $3.1×10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1×10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1×10^{-1}$ で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (H-3)
 2021年度 第1四半期

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目				参考 Cs合計 (Bq/kg(生))
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))		
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型	
熊川沖合4km付近 (T-S8)	ヒラメ(筋肉)	2021/4/21	4.9E-02	< 2.7E-01	3.8E-02	< 4.1E-02	ND
		2021/5/21	5.9E-02	< 2.6E-01	4.5E-02	< 4.0E-02	ND
		2021/6/25	8.5E-02	< 2.7E-01	6.7E-02	< 3.8E-02	ND

採取地点	試料名	採取日	H-3 (Bq/L)
熊川沖合4km付近 (T-S8)	海水(表層)	2021/4/20	5.1E-02
		2021/5/20	5.4E-02
		2021/6/24	7.6E-02

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：一般財団法人 九州環境管理協会
- ・組織自由水型H-3とは、魚の筋肉に含まれる水分に含まれるH-3をいい、魚が生息する海水中のH-3濃度と比較される。
 有機結合型H-3とは乾燥させた魚の筋肉に含まれるH-3をいい、乾燥させた魚の筋肉を燃焼させたときに発生する水分に含まれるH-3濃度を表す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。